

鳥取県病原微生物検出情報（令和6年8月検出分；検体採取 令和6年8,9月）

令和6年10月18日
鳥取県衛生環境研究所

1 インフルエンザ

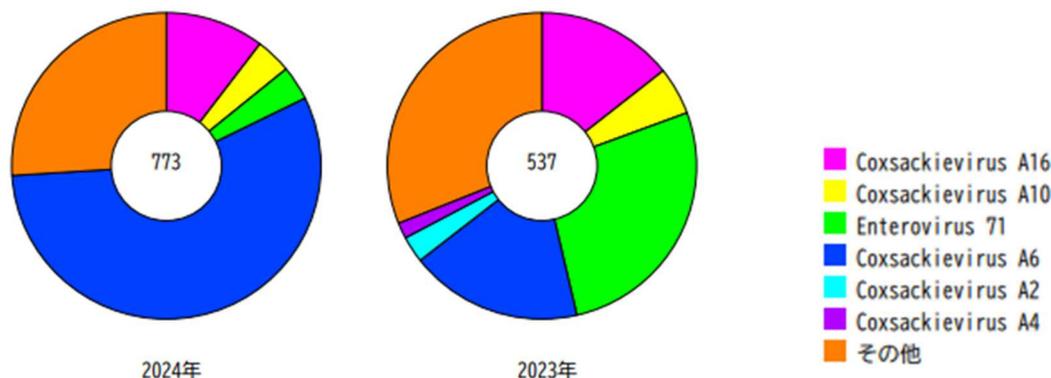
臨床診断名がインフルエンザ様疾患の検体2件（検体採取9月上旬）について検査を実施したところ、1件からインフルエンザウイルスを検出し、型はA（H1N1）pdm09型であった。

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体3件について検査を行ったところ、1検体からアストロウイルスが検出された。他の2検体はノロウイルス、サポウイルス、A群ロタウイルス、C群ロタウイルス、アデノウイルス（40/41型）、アストロウイルスのいずれも検出されなかった。

3 手足口病

臨床診断名が手足口病の検体2件について検査を行ったところ、2件いずれもコクサッキーA16型が検出された。コクサッキーA16は、2023年、2024年いずれも手足口病から上位で検出されている代表的な型の1つである。



出典：国立感染症研究所 IASR 速報グラフより抜粋

4 RSウイルス感染症

臨床診断名がRSウイルス感染症の検体1件について検査を行ったところ、RSウイルスは検出したものの型は判明しなかった。

5 無菌性髄膜炎

臨床診断名が無菌性髄膜炎の検体3件についてアデノウイルス、エンテロウイルス、ムンプスウイルス、ヘルペスウイルス1~7の検査を実施したところ、1検体からエンテロウイルス（型不明）、他の1件体からヘルペスウイルス7を検出した。残りの1件体からはいずれのウイルスも検出されなかった。

6 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の検体1件について検査したところ、アデノウイルスD8型が検出された。D8型は流行性角結膜炎から検出される代表的な型の1つである。

7 A群溶連菌感染症

臨床診断名がA群溶連菌感染症の検体1件について検査を行ったところ、A群溶連菌は検出したものの型は判明しなかった。